

プロトコール名 トポテシン・パラプラチン併用療法

- 進行・再発癌 術後補助化学療法 術前補助化学療法
 大量化学療法 局所療法 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	イリノテカン(トポテシン・CPT-11)	60mg/m ²	div	90分	d1, 8, 15
2	パラプラチン(パラプラチン・CBDCA)	AUC=5	div	60分	d1
3					

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	4週間
総コース数	6コース
コース間での休薬の規定	白血球<3000/mm ³ 、血小板<7.5万/mm ³ でCPT-11は延期

減量規定・中止基準	(2回目以降) ※Grade4の血液毒性、Grade2の下痢がある場合CPT-11を25%減量
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	CPT-11がd15に投与出来ないときはコース期間は3週間となる
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	CPT-11 → CBDCA
プレメディケーション・ポストメディケーション	プレメディケーション デカドロン8mg

患者条件(初回条件)

※CTCAE v3.0

- ・PS 0~2
- ・75歳未満
- ・主要臓器機能に大きな異常がない

除外規定

- ・PS 3以上
- ・重篤な骨髄抑制のある患者
- ・感染症を合併している患者
- ・白金を含む薬剤に対し、重篤な過敏症の既往歴のある患者
- ・下痢(水様便)のある患者
- ・腸管麻痺、腸閉塞のある患者
- ・間質性肺炎または肺線維症の患者
- ・多量の腹水、胸水のある患者
- ・黄疸のある患者
- ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

実施上の注意点

- ・シスプラチンの使用歴があり、腎機能低下例に使用する
- ・75歳以上の高齢者には慎重投与
- ・CPT-11による高度な下痢が生じることがあるので、発現時は適切な止瀉薬を用いる